

財務諸表に対する注記(社会福祉法人福寿会)

1. 継続事業の前提に関する注記

記載すべき事項はない。

2. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

建物、構築物、車輛運搬具、器具及び備品……定額法

(2) 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法による。

(3) 引当金の計上基準

賞与引当金……翌期に支給する職員の賞与のうち、支給対象期間が当期に
帰属する支給見込み額を計上する。

退職給付引当金……掛金累計額で計上する。

3. 重要な会計方針の変更

該当なし

4. 法人で採用する退職給付制度

退職給付制度は、次の退職給付制度を利用している。

① 福祉医療機構

② 神奈川県福利協会

5. 法人が作成する財務諸表等と拠点区分、サービス区分

当法人の作成する財務諸表等は、以下のとおりである。

(1) 法人全体の財務諸表(資金収支計算書・事業活動計算書・貸借対照表)

(2) 事業区分別内訳表(資金収支内訳表・事業活動内訳表・貸借対照表内訳表)

(3) 社会福祉事業における拠点区分別内訳表(資金収支内訳表・事業活動内訳表・貸借対照表内訳表)

(4) 公益事業における拠点区分別内訳表(資金収支内訳表・事業活動内訳表・貸借対照表内訳表)

(5) 各拠点におけるサービス区分の内容

社会福祉事業

ア 本部拠点

本部

イ 村岡ホーム拠点

特別養護老人ホーム

短期入所

通所事業

居宅介護支援

在宅介護支援

ウ 村岡ケアハウス拠点

ケアハウス

エ しおさい荘拠点

通所事業

公益事業

ア 片瀬地域包括支援センター拠点

地域包括支援

イ 村岡地区地域ささえあいセンター拠点

介護予防・日常生活支援

6. 基本財産の増減の内容及び金額

(単位:円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	1,529,315,000	0	0	1,529,315,000
建物	656,172,493	37,454,400	38,662,270	654,964,623
合計	2,185,487,493	37,454,400	38,662,270	2,184,279,623

7.会計基準第3章第4(4)及び(6)の規定による基本金又は国庫補助金等特別積立金の取り崩し

該当なし

8.担保に供している資産

該当なし

9.固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

(単位:円)

	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
建物	2,142,837,698	1,487,873,075	654,964,623
構築物	134,929,938	134,929,935	3
車輛運搬具	36,053,168	30,066,868	5,986,300
器具及び備品	123,328,827	85,525,063	37,803,764
リース資産	19,261,764	10,119,576	9,142,188
合計	2,456,411,395	1,748,514,517	707,896,878

10.債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債券の当期末残高

(単位:円)

	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	債権の当期末残高
事業未収金	79,025,587	0	79,025,587
その他の未収金	0	0	0
合計	79,025,587	0	79,025,587

11.満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益

該当なし

12.関連当事者との取引の内容

該当なし

13.重要な偶発債務

該当なし

14.重要な後発事象

記載すべき事項なし

15.その他社会福祉法人の資金収支及び純財産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

特になし